

平成23年度事業仕分けを受けた各事業の検討状況と市の見直し方針について

平成23年7月16日に、16事業について実施されました事業仕分けの判定結果を踏まえて、市内部において事業の必要性和効果等について再検討し、次年度以降への予算編成への反映に向けて取り組んでまいりました。

今回、各事業の検討状況と市の見直し方針がまとまりましたので公表いたします。

仕分け結果及び市の方針一覧

仕分け結果	事業数	
	市民判定員	仕分け人
不 要	2	3
国・県・広域で実施	0	0
再検討・見送り	4	5
市(要改善)	8	8
市(現行通り)	2	0
計	16	16



市の方針		事業数	
廃 止		1	
国・県・広域で実施		0	
市(要改善)	改善して実施	13	11
	改善に向けて準備・検討		2
市(現行通り)		2	
計		16	

No.	事業名	担当課	仕分け結果		検討内容	市の方針	H24予算額 (千円)	縮減効果額 (千円)
			市民判定員	仕分け人				
1	男女共同参画各種講座開催事業	男女共同参画課	再検討・見送り	不要	「講座の意義・目的・実施方法」に対する意見を踏まえ、講座の内容を見直す。 ●リーダー養成につながる専門講座を実施する。 ●男女共同参画意識の啓発につながる一般講座を実施する(市民が参加しやすい内容と実施回数を設定する)。 ●各公民館講座と同様の講座は実施しない。	改善して実施	608	▲ 83
2	県民交通災害共済加入促進事業	生活安全課	不要	不要	公費負担していた「新入学児童及び準要保護児童・生徒の県民交通災害共済加入負担金」を廃止する。 ●学校で加入している保険により学校事故の大部分をカバーでき、他市においても実施していないことから、公費負担は廃止する。 ●加入促進のための啓発活動並びに加入及び見舞金請求の受付業務は継続する。	廃止	0	▲ 1,280
3	ボランティアセンター運営費補助事業	社会福祉課	要改善	再検討・見送り	「事業手法・センターの運営」「補助金の有効活用」に対する意見を踏まえ、ボランティアセンターの運営及び事業内容を見直す。 ●既存のボランティア講座のほかに「ボランティア入門講座」を開設し、ボランティア活動へのきっかけづくりや意識づけを図る。 ●各種広報活動の充実により、市民への周知を徹底する。 ●ボランティアセンターの受付窓口を祝日以外は対応できるように見直し、利便性の向上を図る。 ●ボランティアの育成やボランティア活動の活発化に資することを念頭に補助金を精査する。	改善して実施	1,268	—
4	はり、きゅう、マッサージ施術費補助事業	高齢福祉課	不要	再検討・見送り	判定結果及び利用者アンケートに基づき、より多くの高齢者に御利用いただけるよう、助成券の枚数及び助成単価を見直す。 ●1,400円×6枚 ⇒ 1,000円×8枚 ●事業のPRを強化し、利用者の拡大を図る。	改善して実施	4,800	▲ 7
5	こどもチャレンジ事業	こども福祉課	要改善	要改善	「事業に対する市の関与の仕方」「一律に交付していた補助金」に対する意見を踏まえ、見直しを実施する。 ●市が事業の内容について助言、指導が行えるよう要項の改正を進める。 ●「できるだけ多くの希望者に参加いただけるようにする」や「参加者から負担金を徴収する」という意見については、今後の検討課題とする。	改善して実施	2,000	—
6	献血推進事業	健康増進課	要改善	要改善	長期的な献血者増を目標に、若年層に対する「啓発的なPRの強化」の推進を図る。 ●高校生を対象にしたパンフレットを作成する。 (高校生から作品を募集) ●ボールペン等に代わる新たな献血記念品を選定する。 ●各種メディア等を利用したPRを推進する。	改善して実施	1,050	—

No.	事業名	担当課	仕分け結果		検討内容	市の方針	H24予算額 (千円)	縮減効果額 (千円)
			市民判定員	仕分け人				
7	生ごみ処理容器配布・購入助成事業	環境衛生課	現行通り	要改善	<p>判定における「検証を進めながら拡充を図るべき」という意見を踏まえ、事業拡充を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民が自家処理に取り組みやすい「EMほかし容器」の配布数を拡充する。(配布回数:1回⇒2回, 配布数:400基⇒600基) ●生ごみ水切りの励行のため、自家処理促進キャンペーン時などに、水切り用品(しぼりっ子, 水切りダイエット)を無料で配布する。 	市(現行通り)	3,316	434
8	揚水機運営補助事業	耕地課	要改善	要改善	<p>各揚水機場の管理費削減に向けた地元との協議を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●揚水施設は建設から約30年が経過しており、老朽化が著しく、毎年漏水補修工事を実施しているという状況にあるため、即時地元へ移管することは困難である。 ●平成24年度は各地区の現状を調査のうえ、管理費削減に向けて、地元との協議を進めていく。 	改善に向けて 準備・検討	3,087	—
9	観光帆曳船操業委託事業	商工観光課	再検討・ 見送り	要改善	<p>効果的なPR方法及び帆曳船と絡めた観光事業について検討を進めながら、操船技術継承者育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成24年度は操船技術継承者の育成を推進する。 ●帆曳船を所有する3市の合同操業は、陸地から見えない等課題が多いため、PR手法における連携を継続する。 ●帆曳船の操業時期はワカサギ漁が解禁される時期に限られ、経費以上の収益を得ることが難しく、民間での実施は困難であり、引き続き土浦市観光協会への委託業務とする。 ●観光関連業者と連携し、帆曳船が操業できない時期にも代わりとなるような見どころを発掘する。 	改善して実施	3,829	—
10	奨学生育英事業	教育総務課	再検討・ 見送り	再検討・ 見送り	<p>事業目的及び選考基準の明確化、補助金額の検証等の意見を踏まえ、改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例を一部改正し、目的を「経済的理由で高校進学が困難な成績良好者に対し、その意思を達成させること」であるとして、成績良好者に対する支援であることを明記する。 ●選考基準(内規)の見直しにより、収入及び成績の基準を明確にする。 ●「こども学習費調査(H20文科省)」の結果から、公立高校就学時の費用を用いて検証した結果、現行の7,000円の妥当性を確認した。 	改善して実施	3,726	▲ 588
11	卒業記念品支給事業	学務課	要改善	要改善	<p>事業の必要性や継続を望む意見をいただいたため、事業の内容について検討したうえで、現在の形で継続実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校卒業生への英語辞書については、中学校で聞き取りを行ったところ、授業で使われており、好評であることを確認した。 ●中学校卒業生への印鑑については、市職員へアンケート実施したところ、211人中100人(47%)が現在も使用しており、うち21年以上使用している者が62名いたため、好評であったことが確認できた。 	市(現行通り)	1,761	—

No.	事業名	担当課	仕分け結果		検討内容	市の方針	H24予算額 (千円)	縮減効果額 (千円)
			市民判定員	仕分け人				
12	観劇, 音楽鑑賞一部補助事業	指導課	現行通り	要改善	補助金の配分方法について再検討し, 事業内容の質を維持しながら公平かつ効果的な事業を実施する。 ●現行の小学校206千円, 中学校240千円の一律での補助を見直し, 児童生徒数に応じて3段階の傾斜配分を行い, 小規模校の負担軽減を図る。 ●本事業は, 昭和47年から平成6年までは市民会館に児童生徒を集めて, 隔年で実施してきたが, 往復の時間, バス代, 週5日制などを考慮して現在の方法となっているため, 平成24年度も学校単位での実施とする。	改善して実施	6,040	—
13	家庭教育学級開設運営委託事業	生涯学習課	再検討・見送り	不要	事業の必要性は認められたものの, 事業への市の関与の方法に対して得られた意見を踏まえ, 改善を行う。 ●実施目的, 内容等を要綱にまとめ, 市と委託先とが共通認識をもって事業を実施する。また, 「学習の手引き」を作成し, 運営の負担を軽減する。 ●チラシの配布や「家庭教育学級だより」を配付し, 広報を強化する。 ●一律50,000円の委託料を, 園児・児童・生徒数に応じた額とする。	改善して実施	1,866	—
14	市民会館自主文化事業	文化課	要改善	再検討・見送り	「事業に対する責任の所在」, 「市民ニーズの把握状況」に対する意見を踏まえ, 事業方式を見直して実施する。 ●事業手法を「委託」から「指定管理者の業務」とするとともに, 事業収入を指定管理者の収入として責任の所在を明確にする。 ●市民全体から年代別・地区別に抽出, アンケートを実施し, ニーズを把握する。	改善して実施	10,456	—
15	青少年の家管理事業	青少年課	要改善	要改善	利用実態を検討したうえで, 運営内容の一部を見直し, 効率的な運営を目指す。 ●宿泊施設の利用は, 原則として土曜日・日曜日及び夏休み期間のみとし, 平日の宿泊を廃止する。	改善して実施	28,640	▲ 289
16	水洗化改造資金融資あつ旋利子補給事業及び湖沼水質浄化下水道接続事業補助事業	下水道課	要改善	再検討・見送り	水洗化のPR活動を強化しながら, 補助制度のあり方を検討し, 水洗化率の向上を図る。 ●浄化槽の保守点検・清掃・検査などを管理している担当課との協力を得ながら, 環境・経済的側面からのPRにより, 効果的な広報活動を推進する。 ●平成24年度は, 補助制度を継続し, 水洗化率の向上を図る。 ●平成25年度以降については, 県の補助が平成24年度までであることから県の動向を注視しながら再度検討していく。	改善に向けて準備・検討	5,250	—
							合計	▲ 1,813

※縮減効果額とは, 事業の見直しによって生じた増減額であり, 事業の見直しによらない増減(計画通りの予算設定等)は加えていません。

- 平成22年度事業仕分けによる平成24年度予算から新たに反映される縮減効果額 51,257千円
(市税納期前納付報奨金事業:20,935千円, 消防車両更新事業:29,069千円, 生涯学習推進事業:1,253千円)